

令和8年6月26日

報道関係者 各位

県内初 高知赤十字病院で前立腺がん治療薬「プルヴィクト®」による 治療を開始 ～前立腺がん患者へ新たな治療の選択肢を提供～

高知赤十字病院(院長:溝渕 樹)は、このたび県内で初めて、前立腺特異的膜抗原(PSMA)を標的とした放射性医薬品治療薬「プルヴィクト®静注(一般名:ルテチウムビピボチドテトラキセタン(177Lu))」による治療を開始しました。

プルヴィクト®は、PSMA陽性で遠隔転移を有する去勢抵抗性前立腺がんを対象とした治療薬であり、放射線をがん細胞へ選択的に届けることで腫瘍細胞を攻撃する「放射性リガンド療法(RLT)」に使用するものです。従来の治療で十分な効果が得られなかった患者さんに対する新たな治療選択肢として期待されています。

当院では、医師、看護師、放射線技師を中心とした多職種により、安全かつ適切な治療体制を整備しました。治療適応判定に必要なPSMA-PET検査については県外の専門施設へ依頼しますが、治療に関しては患者さんが高度ながん医療を県内で受けられる体制となっています。

高知赤十字病院は、高知県がん診療連携推進病院として地域のがん医療を担っており、前立腺がん治療においては、これまでの限局がんに対する手術(ロボット、腹腔鏡、開腹)と患者さんの状態により行う薬物療法に、新たにプルヴィクト®治療を加えることで、前立腺がんの患者さんにより最適な治療を提供してまいります。

【プルヴィクト治療の概要】

治療薬:プルヴィクト®静注
一般名:ルテチウムビピボチドテトラキセタン(177Lu)
対象:PSMA陽性転移性去勢抵抗性前立腺がん
治療方法:点滴静注

【病院の概要】

高知赤十字病院
所在地:高知県高知市秦南町一丁目4番63-11号
病床数:402床
院長:溝渕 樹

《お問い合わせ》

高知赤十字病院 医療事業・広報課 奥宮・古郡
高知市秦南町一丁目4番63-11
TEL:088-822-1201(代)